

# 瑞

# 雲

明日を拓く  
直方鉄工青年会

第 57 号  
平成 4 年 4 月 25 日

## 会長就任にあたって

第28代会長 坂田 幸一



本年度第28代会長に任命いただき、会員の皆様に心より感謝申し上げますと共に、責務の重大さを痛感致しております。

さて、我々をとりまく経済環境は、'87年より始まった約50ヶ月に及ぶ内需拡大による大型景気も'90年をピークにバブル崩壊により調整局面を迎え、現在景気後退を続けております。今後しばらくは、厳しい経済環境が続くと思われませんが、このような変動の時期こそ青年会を練磨研修の場として大いに活用していただきたいと思っております。

そこで、私は、本年度は、『団結と前進の直方鉄工青年会』というスローガンを掲げ、研修、親睦、会員拡大の3つを基本方針として青年会事業を推進していきたいと考えております。

まず「研修」につきましては、経営セミナーや講演会はもちろん、例会及び委員会にはぜひ出席して会員同志の知識や情報の交換を積極的に行い、今後の青年会の発展のため、あるいは又、自社企業の経営力充実のためにより多くのものを自ら学び取っていただきたいと思っております。

又「親睦」は青年会発足当初からの目的の一つでもあります。会員同志が互いに切磋琢磨しあう厳しさの中にも、常に親睦を深める意識をもつことで、会員相互の連帯感が強まり、会の活性化が図られ、より多くの友人を得、より多くの知識を得ることにつながると考えます。青年会を、親睦の場、憩いの場に、魅力ある青年会にしていきたいと思っております。

次に「会員拡大」についてですが、鉄工青年会も新旧交代がすすみ、ここ数年の間に約1/3の会員が入れ代わりまして、本年度は、52名の会員でスタートいたします。皆様御承知の通り会員数が減ることは、即ち予算が減少し、会の運営、活動に大きな支障を来します。直方鉄工青年会のすばらしい伝統を守るためにも、又、地域社会の発展に貢献出来る為にも、会員拡大は、重要課題の一つと考えます。会員の皆様はもちろん、OB会員の方々、身近かに青年会に相応しい方がおられましたら、御紹介いただき、入会を勧めていただきたいと思っております。

最後にこの伝統ある青年会の会長として、30周年への大きな飛躍に向かって、会発展の為微力ながら全力を尽くす覚悟でございますので、会員の皆様はもとより、諸先輩方、関係各位の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

スローガン  
「団結と前進の直方鉄工青年会」

## 本音で話せる青年会に

事務局長 与古光英明



小学校1年になる私の息子が、学校の作文に、「お父さんはいつも仕事で帰りが遅い。お父さんといっしょに晩ご飯が食べたい。」という風な事

を書いたらしい。子どもの本音である。平成景気の活況時は、仕事と納期に追われ、バブルがはじけるや、東へ西へと営業に走り廻る毎日で、家庭を顧みる時間がなかったのは確かであろう。父親として家庭に帰るべきなのか、経営者として仕事をとるべきなのか、会員の皆様ならどちらを取られますか。

さて青年会の今日このごろですが、いつもと変わらず、本音と建て前の両立てで、当り障りのない事業が行なわれるだろうと思いきや、会長選考会の事、まつりくらの事など会員の本音がやっと言える様になったと思う。

会員一人一人の本音が、委員会、役員会へと反映して、いまこそ、会員の会員による会員のための青年会へと生まれ変わりたいものです。

家庭、仕事、青年会、と役職の多い我々です。本音のつき合いが、一番の長続きの基礎にあると思っています。

今年一年間、事務局長という重大なポストに就かせてもらって、精いっぱいがんばろうと思っておりますので何卒、御指導の程、よろしくお願い申し上げます。

## 新委員長に聞く 青年会に思う

総務委員長 大田 譲治



私が本会に入会したのは、第24代西尾会長の時でした。入会に当り会長は「青年会が何かをしてくれるのではなく、君が青年会で何ができるか

です」と、あの西尾流やさしい言葉の中にも威厳ある口調で言われた事を現在も覚えています。

早いもので4年が過ぎ、この間会員の顔ぶれもずい分変りました(12名卒業、21名入会)が、私は各委員会で行いたい事を言い、「自分が楽しくなければ人も楽しくない」といった勝手な発想で、経営セミナー、旅行等の事業を楽しくやってきました。この様な勝手気ままな行動を後方からじーと見ている方がおられるとは露知らずです。

本年度坂田新会長より総務委員長の御指名を受けました。日頃、青年会活動の中で好きな事ばかりやっている私に対し、「少しは後輩の為に役立つ事をしなさい」と言う戒めと思ひ有難く受諾致しました。

まさに青天のへきれきとはこの事。「全体の事務を統(す)べつかさどること」など総務委員会を一度も経験したことがない私には荷が重過ぎますが、幸い副委員長に若手のホープ伊藤君、メンバーは「七人の侍」よろしく強者揃い、その上、入会ホヤホヤの名島、桑原の両君をいただき未熟な私しでもなんとか一年間やっていけるのではないかと思う今日この頃です。

さて、本年度総務委員会の目標を上げなければなりません、会員諸兄に西尾氏の言葉を想い出して頂ければ、各委員会事業の活況、例会出席率の向上等の目的は達成されるのではないかと考えます。

一年間皆様の御協力をお願い致します。と供に来年の今頃は総務をやってほんとうに楽しかったとおいしいお酒を呑みたいものだと思っております。

## 今年の抱負

厚生委員長 田島 悦朗



私が鉄工青年会に入会して19年目の春を迎えようとしています。長いようで短かったなあと思います。さて今回坂田会長より厚生委員長を仰せつ

かり大変光栄に思っています。

昨今の世の中の動きを見ていると、今はやりのフェジーな局面を迎えようとしています。明確な原因がわからず適確な対策が打てないまま現在に至ったとおもわれます。この状況の時にトップがどの様な決断をし、行動をおこしたら良いのか、非常に興味深く、厳しく、おもしろい時代に入ってきたんじゃないかなと思います。

青年会予算も年々厳しくなっていく中で、「どのようにすれば予算内で行事をし皆さんに喜んでもらえるか」を目標にして会長、副会長をフォローしながら今年1年頑張りますのでよろしく御協力下さいますようお願い致します。

## 元本保証の経営セミナー

経営委員長 飯野 泰造



1.これを知っているだけで会社経営が10倍楽しくなる「経営者のための経理常識」、2.おもしろくない話を聞いておもしろい会社にしよう、3.聞

かないと大損をする経営セミナー、コピーを考えていたらどこかの雑誌のみだしのようになりかなり大袈裟になりそうですが、今年の経営セミナーは、6月から1月まで(12月は除く)の毎月、第3水曜日6:30から6回の講座と1回の講演会を開催する予定です。講座では、管理者にとって必要最少限の経理常識を学習します。日頃、現場や営業で忙しく勉強する機会をつかめない、実務はやっているが、体系的に話を聞きたい、こんな問題点があるがどうすればよいか等々、このような方や例会の出席率が悪く会費が割高に感じられる方はこれを機会に是非、参加されて元を取って下さい。

経営セミナーに多数の会員が参加され、その内容を通して生きた情報が交換され、そのなかから会員相互の一層の親睦が図られることを願っています。

## 広報委員の方針

広報委員長 栗原敬一郎



先日、長谷川製菓の長谷川氏の講演に接する機会を得ました。長谷川氏の熱の入った話で、会場は誰一人、居眠り等する

人は居ませんでした。70人の参列者が皆、話の中で、何かを得よう、学ぼうという意欲で、あっという間に2時間が過ぎました。しかし、そこに居あわせた70人しか、そのすばらしい話は聞けなかったのです。そこで、ふと思ったのですが、例えば、こういうすばらしい話の内容を他の人にも、知らせたい、伝えたい、そういう役割を果たせるのが、我広報委員会ではないかと。今年は、飯野君の経営委員会が実銭的な経営セミナーを数多く、企画され

ました。講師も招かれます。セミナーに出席されなかった会員に少しでも、正確に、内容を伝える事に全神経を傾けるつもりです。幸い去年の須藤委員長が、『かわら版、というすばらしい企画をされました。「良い事業は、そのまま引継ぐ……」これは産業界に於いて鉄則でありますから、今年も、かわら版を通して、会員の意見、内外部からの情報をふんだんに、皆様にお伝えします。それが、広報委員会10人の仕事と思って居ります。

---

---

## 新入会員の紹介

---

---

名島鉄工所 名島 憲次



この度、竹内満様の御紹介により直方鉄工青年会に入会させて頂きました。私自身、同世代の仲間と野球のチームを作ったり、

地域のボランティアサークル等に参加しておりましたが、別の視野を広げる又とない機会と確信して入会させて頂きました。

今後も青年会の諸先輩方の御指導を仰ぎ少しでも多くの行事に参加し、青年会員として恥ぬよう頑張っていきます。若輩者ですがよろしく御願ひ申し上げます。



(株)サンエム精工 桑原 英年



この度は、直方鉄工青年会に入会させて頂きましてありがとうございました。

私自身当社に入社して2年余りで、ようやく仕事にも慣れてきましたが、直方の鉄工業界に関しては人的交流も少なく、よく分かっていない状況でした。

そういった折、懶得居商店の得居様より鉄工青年会の話聴き、今の私には願ってもない話だと思い入会を希望し、御願ひ致しました。

若輩者で分からないことばかりですが、今後は青年会の諸先輩方々の御指導を仰ぎ、私自身の向上をめざし、会の一員として恥ずかしくない様に頑張っていきますので宜しく御願ひ申し上げます。

## 平成4年度 事業計画案

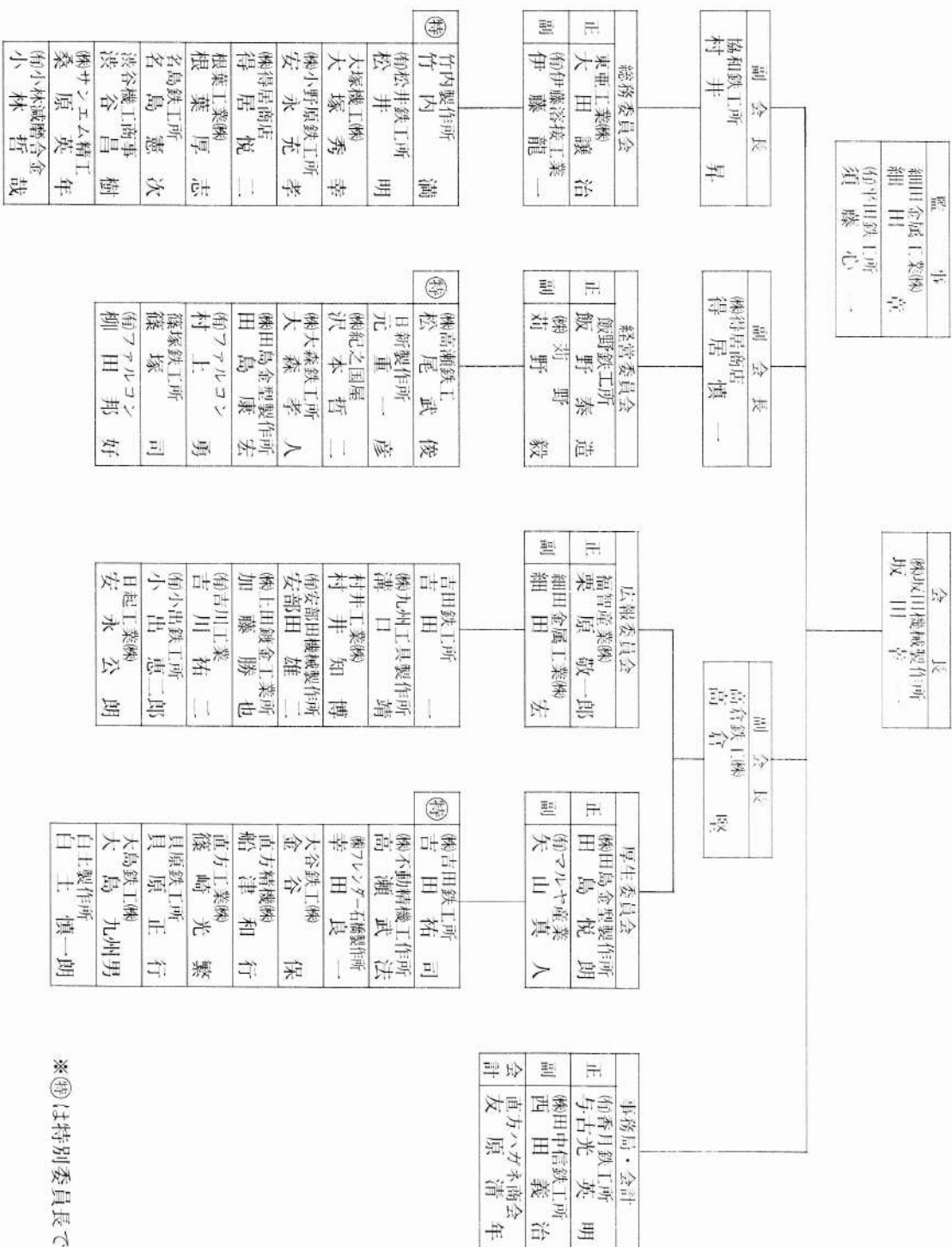
	総務	厚生	経営	広報
4月	通常総会			瑞雲57号
5月	例会	ソフトボール大会 (例会)		
6月	例会		経営セミナー (例会)	
7月	例会		経営セミナー (例会)	
8月	家族 レクリエーション (例会)		経営セミナー	
9月	例会	研修旅行 (例会)	経営セミナー	
10月	例会	ソフトバレー大会	経営セミナー (例会)	
11月	例会		経営セミナー (例会)	
12月	例会	忘年会 (例会)		
1月	新年例会		経営セミナー (例会)	瑞雲58号
2月	通常総会			
3月	例会			夫婦同伴例会 瑞雲59号(4月発行)
その他	手帳・名簿配布			かわら版 年3回程度発行

※ その他まつりくらじ(7月)

※ご冥福をお祈り申し上げます。

特別会員大島誠三氏(大島鉄工株式会社)のご母堂であられ、正会員大島九州男君の祖母 大島ツルエ様(81歳)が去る平成4年3月25日に永眠されました。  
心よりおこやみ申し上げます。

# 平成4年度 直方鉄工青年会組織表



※⑩は特別委員長です。